

社会资本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年12月12日

計画の名称	神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり（防災・安全）											重点配分対象の該当	○	
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	神戸市											重点配分対象の該当	○	
計画の目標	神戸市の市街地において、土地区画整理事業等により、道路等の公共施設の整備改善や老朽建築物の建替促進を図り、地区の防災機能や住環境を高めることで安全・安心なまちづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,301	A	6,290	B	0	C	11	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.17	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値								
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値						
					R6末			R11末					
1	土地区画整理事業区域内において、歩車分離された都市計画道路鈴蘭台幹線を整備することにより、通学路の安全度を向上させる。	通学路の安全度：歩車分離を図り、整備後に通学路となる都市計画道路鈴蘭台幹線の整備率 〔通学路（鈴蘭台幹線）の整備延長〕（m）／〔通学路（鈴蘭台幹線）の計画延長〕（548m）×100			0%	%	100%						
2	土地区画整理事業区域内において、老朽木造建築物の延床面積指數を減少させる。	老朽木造建築物の延床面積指數：昭和55年以前の木造建築物の延床面積の従前値を100とした指數 100×〔事業後の老朽木造建築物の延床面積〕（m ² ）／〔現況の老朽木造建築物の延床面積〕（849m ² ）			100		12						
	備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果					備考					R07	R08	R09	R10	R11			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	鈴蘭台北地区 住宅市街地	老朽建築物等除却 A=8.46ha	神戸市	■	■	■	■	■	440		策定済
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	鈴蘭台駅北地区 都市再生	土地区画整理事業 A=7.5ha	神戸市	■	■	■	■	■	2,961	1.36	—
道路事業	A01-003	街路	一般	神戸市	直接	神戸市	区画	新設	鈴蘭台幹線（鈴蘭台駅北側）	道路整備 L=548m	神戸市	■	■	■	■	■	2,889		—
											合計						6,290		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		基幹事業と一体的に実施することにより期待される効果	備考									R07	R08	R09	R10	R11			
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	神戸市	間接	神戸市等	—	—	まちづくり活動推進事業	まちづくり専門家派遣	神戸市	■	■	■	■	■	10	—	
基幹事業と一体的に実施することで、良好な街なみの形成を誘導する。																			
	C15-002	住宅	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	まちづくり活動推進事業	まちづくり助成	神戸市	■	■	■	■	■	1	—	
	基幹事業と一体的に実施することで、良好な街なみの形成を誘導する。																		

事前評価チェックシート

計画の名称： 神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 繼続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>

参考図面

